



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算説明会資料

2025年 11月5日

喜びを創り喜びを提供する



<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次

■ 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算概要	P 1～19
■ 2026年3月期 業績予想	P 20～24
■ 今後の経営方針とセグメント別業績の概況	P 25～43
■ ESG関連情報	P 44～45
■ 株式の状況・株主還元	P 46～50
■ 参考情報	P 51～60
■ 熱狂的ファンづくりの取り組み事例	P 61～66



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算概要

※本資料中の金額は、「百万円未満切捨て」で記載しております。

業績ハイライト 2026年3月期 第2四半期(中間期)

第2四半期(中間期)業績

売上は8.8%増収、中間純利益は前年同水準

- 売上高は、各種施策効果などにより、前年同期比8.8%増収。利益面は、原材料価格の高騰など製造コスト増加により売上総利益率を押し下げた一方、増収効果により、中間純利益は、僅かながら前年同期を上回る。
- インバウンド売上高(国際線ターミナル売上高)は、5,083百万円(前年同期比9.5%増)。
- 出退店は、2025年9月、ニューマン高輪に「東京ミルクチーズ工場」がリブランド後初のフラッグシップ店舗をオープンするなど、3店舗の出店と3店舗の退店を実施。

トピックス①(インバウンド売上高)

第2四半期累計のインバウンド売上は、前年同期比9.5%増

【インバウンド売上高(国際線ターミナル売上高)】

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2026年3月期	2,646	2,436			
2025年3月期	2,305	2,338	2,765	2,613	10,022
2024年3月期	1,519	1,606	1,966	2,033	7,126



成田空港国際線ターミナルに展開中の「小樽洋菓子舗LeTAO」「抹茶ちとせ」

トピックス② 新規出店情報

シュクレイは、「東京ミルクチーズ工場」リブランディング後、初となるフラッグシップ店舗を2025年9月12日に開業した「NEWoMan高輪」に出店しました。



トピックス③ リニューアル出店情報

ケイセイシーは、「小樽洋菓子舗ルタオ新千歳空港店」を2025年4月29日に、
「小樽洋菓子舗ルタオ大丸札幌店」を2025年7月2日にリニューアルオープンしました。



2025年4月29日 「小樽洋菓子舗ルタオ 新千歳空港店」
リニューアルオープン



2025年7月2日 「小樽洋菓子舗ルタオ 大丸札幌店」
リニューアルオープン

トピックス④ リニューアル出店情報

寿製菓は、「菓の座 シャミネ鳥取店」を2025年8月5日にリニューアルオープン。



2025年8月5日 菓の座 シャミネ鳥取店リニューアルオープン

2026年3月期 第2四半期(中間期)業績(対前年同期)

売上高は前年同期比8.8%増収、中間純利益は前年同水準

(百万円、%)	前第2四半期(中間期) (24年4月～9月)		当第2四半期(中間期) (25年4月～9月)		対前年同期		(参考)前期 (24年4月～25年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	32,906	—	35,787	—	2,881	8.8	72,349	—
売上総利益	20,376	61.9	21,526	60.1	1,149	5.6	44,804	61.9
販売管理費	12,899	39.2	14,085	39.4	1,185	9.2	27,193	37.6
営業利益	7,476	22.7	7,441	20.8	△ 35	△ 0.5	17,610	24.3
経常利益	7,520	22.9	7,517	21.0	△ 3	△ 0.0	17,686	24.4
中間純利益 (注1)	4,990	15.2	5,016	14.0	26	0.5	12,122	16.8
EPS(円)	32.07		32.49		0.42		78.00	

(注1) 中間純利益＝親会社株主に帰属する中間純利益

公表数字に対する達成率

想定を超える原材料価格の高騰に加えて、夏場のインバウンド需要の低調に伴う生産調整などにより売上総利益率が期初予想に対して2.2ポイント下回る

(百万円、%)	期初予想※		当第2四半期(中間期)		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	35,950	—	35,787	—	△ 162	99.5
売上総利益	22,380	62.3	21,526	60.1	△ 853	96.2
販売管理費	14,110	39.2	14,085	39.4	△ 24	99.8
営業利益	8,270	23.0	7,441	20.8	△ 828	90.0
経常利益	8,305	23.1	7,517	21.0	△ 787	90.5
中間純利益	5,520	15.4	5,016	14.0	△ 503	90.9

※ 期初予想は、2025年5月13日付公表数字

売上高(販売チャネル別)

国内卸売は寿製菓グループの貢献などにより10.7%増収

(百万円、%)	前第2四半期(中間期)		当第2四半期(中間期)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	32,906	—	35,787	—	2,881	8.8
国内卸売	14,490	44.0	16,039	44.8	1,548	10.7
国内小売	15,621	47.5	16,596	46.4	975	6.2
通信販売	2,195	6.7	2,431	6.8	236	10.8
その他	3	0.0	3	0.0	0	7.6
国内計	32,311	98.2	35,071	98.0	2,760	8.5
海外卸売	321	1.0	452	1.3	130	40.5
海外小売	273	0.8	264	0.7	△ 9	△ 3.3
海外計	594	1.8	716	2.0	121	20.4

(注) 国内卸売は、主に小売店向け卸(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど/ 国内小売は、主に直営店舗、催事など
 海外卸売は、海外FCに対する国内出荷売上＋ロイヤルティ/ 海外小売は、台湾子会社の売上/その他は損害保険代理業

補足(海外売上の内訳)

【海外売上高】

(百万円、%)

	25年3月期 (中間期)	26年3月期 (中間期)	増減額	増減率
台湾(注1)	273	264	△ 9	△ 3.3
シンガポール	139	144	4	3.5
オーストラリア	130	180	49	38.0
その他	51	127	76	148.5
合計	594	716	121	20.4

(注1)台湾は連結子会社。他の地域はFC展開。台湾は現地売上、FCは国内出荷売上＋ロイヤルティ



(シンガポール)

LeTAO Le chocolat Singapore
Wisma Atria B1-58 (435 Orchard Road)

2025年8月1日 オープン



売上原価・売上総利益

原材料価格の高騰などにより材料費比率が上昇

(百万円、%)	前第2四半期(中間期)		当第2四半期(中間期)		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	32,906	—	35,787	—	2,881	8.8	72,349	—
材料費	7,556	23.0	8,694	24.3	1,137	15.1	16,300	22.5
労務費	2,917	8.9	2,966	8.3	49	1.7	5,730	7.9
製造経費	1,488	4.5	1,729	4.8	241	16.2	3,353	4.6
製造原価計	11,962	36.4	13,391	37.4	1,428	11.9	25,385	35.1
その他	567	1.7	870	2.4	303	53.5	2,159	3.0
売上原価合計	12,529	38.1	14,261	39.9	1,732	13.8	27,545	38.1
売上総利益	20,376	61.9	21,526	60.1	1,149	5.6	44,804	61.9

販売管理費・営業利益

販売管理費比率は前年同期比0.2ポイント増加

(百万円、%)	前第2四半期(中間期)		当第2四半期(中間期)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上総利益	20,376	61.9	21,526	60.1	1,149	5.6
人件費	4,967	15.1	5,282	14.8	315	6.4
販売促進費	1,892	5.7	2,302	6.4	410	21.7
運賃	1,156	3.5	1,256	3.5	100	8.7
広告宣伝費	220	0.7	258	0.7	38	17.3
地代家賃及び 支払手数料	3,270	9.9	3,465	9.7	195	6.0
減価償却費	195	0.6	245	0.7	50	25.6
旅費交通費	237	0.7	240	0.7	3	1.3
その他	959	2.9	1,031	2.9	71	7.4
販売管理費	12,899	39.2	14,085	39.4	1,185	9.2
営業利益	7,476	22.7	7,441	20.8	△ 35	△ 0.5

セグメント別の業績(対前年同期)

寿製菓グループは、沖縄展開好調などにより増収増益

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	25/3期(2Q)	26/3期(2Q)	増減額	増減率	25/3期(2Q)	26/3期(2Q)	増減額
シュクレイグループ (注1)	15,528	16,563	1,034	6.7	2,846	2,641	△ 204
ケイシイシイ	9,355	10,272	916	9.8	1,991	1,830	△ 160
寿製菓グループ(注1)	7,275	8,141	866	11.9	1,574	1,789	214
販売子会社	3,568	3,741	173	4.9	446	474	28
その他(注2)	308	310	1	0.6	17	5	△ 11
セグメント計	36,036	39,030	2,993	8.3	6,876	6,742	△ 134
調整額	△ 3,130	△ 3,242	△ 111	－	599	698	99
合計	32,906	35,787	2,881	8.8	7,476	7,441	△ 35

(注1) 従来「シュクレイ」及び「九十九島グループ」は、それぞれ独立セグメントとしておりましたが、2025年4月1日付で実施した連結子会社間の組織再編(会社分割)に伴い、当四半期より統合し、セグメント区分を「シュクレイグループ」に変更しており、前四半期との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。また、「寿製菓・但馬寿」としていた報告セグメントの名称を当四半期より「寿製菓グループ」に変更しております。

(注2) 「その他」には、損害保険代理事業、健康食品事業、海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

セグメント別業績の補足説明

シュクレイ グループ

主力ブランド「東京ミルクチーズ工場」のリブランドの第一弾として本年6月に看板商品のリニューアルを実施いたしました。また、「ザ・ドロス」の新定番商品「サンドクッキー(マスカルポーネ&ヘーゼルナッツ)」の発売や昨年12月発売の「フィオラッテ」の「サンドクッキー」の販売強化など、各ブランドにおいて主力商品を軸に季節限定などの新商品を順次投入し、ブランド訴求力の向上に努めました。福岡・長崎エリアでは、新商品「赤い風船」の「博多いちごいちご」の販売強化、また、「タンテ・アニー」を本年6月、ハウステンボス本店開設以来、初となる常設店を長崎駅に出店(ブランド変更を伴う移転)いたしました。インバウンド対策では、国際線ターミナルでの売場拡大に向け、販売人員の増強や「抹茶ちとせ」商品の拡販などに注力いたしました。出退店では、本年9月、ニューマン高輪に「東京ミルクチーズ工場」がリブランド後初のフラッグシップ店舗をオープンするなど、2店の出店及び2店の退店を行いました。

ケイシイシイ

更なるブランド価値の増大に向け、直営店舗の「ルタオ新千歳空港店」及び「ルタオ札幌大丸店」の全面リニューアルを行い、また、新紅茶カテゴリー「&LeTAO」の発売や新作限定スイーツを順次投入するなど、新商品開発を推進いたしました。インバウンド対策では、国際線ターミナルでの売場拡大に向け、販売人員の増強や提案営業の推進などに注力いたしました。通信販売では、母の日などの季節イベント対策を推進し、また、本年6月、「ルタオ」のポイント制度のリニューアルを行い、店舗とオンラインショップとの相互連携を図りました。「ナウオンチーズ」などの首都圏ブランドでは、ブランド認知度を高めるため、期間限定出店に注力いたしました。

寿製菓グループ

主要代理店や販売子会社とのタイアップを密にし、主力商品対策や売場提案、新商品開発などの提案営業を推進いたしました。販路拡大では、沖縄において、OEM展開の推進や自社ブランドでありますパイナップルスイーツ専門店「ニューキュー」の展開強化などに取り組みました。地元の山陰地区では、本年8月にJR鳥取駅の商業ゾーンのリニューアルにあわせ、セレクトショップ「鳥取 菓の座」をリニューアルオープンいたしました。また、本年5月30日から6月15日に開催された「第28回 全国菓子大博覧会・北海道」に出展し、山陰地区で展開している主力商品をアピールいたしました。

販売子会社

各販売拠点において主力商品対策及び地域特性にマッチした新商品の発売などに注力いたしました。エリア別では、東海地区は、季節限定新商品「伊勢奉祝水まんじゅう」の発売、関西地区は、主力商品「大阪はちみつクワトロフォルマッジ」の販売強化などに取り組みました。また、福岡地区では、10周年を迎えた「博多まっかな苺」ブランドの展開強化を推進しました。

売上高／営業利益増減分析(対前期)

(売上高)

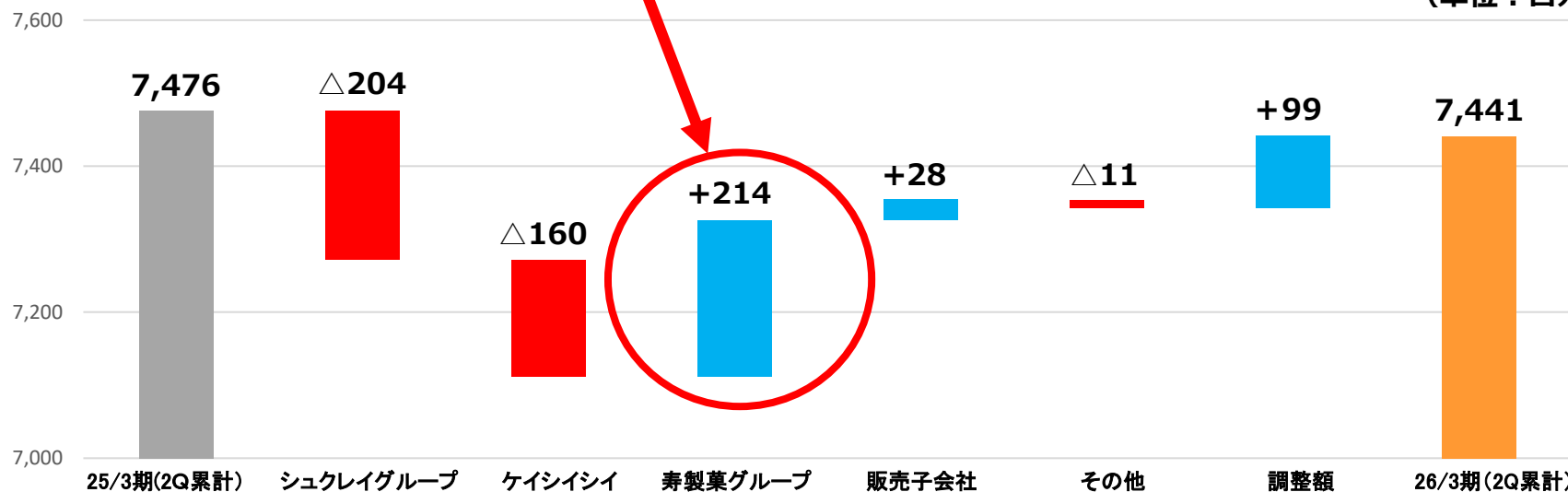
(単位：百万円)



寿製菓グループが増収増益

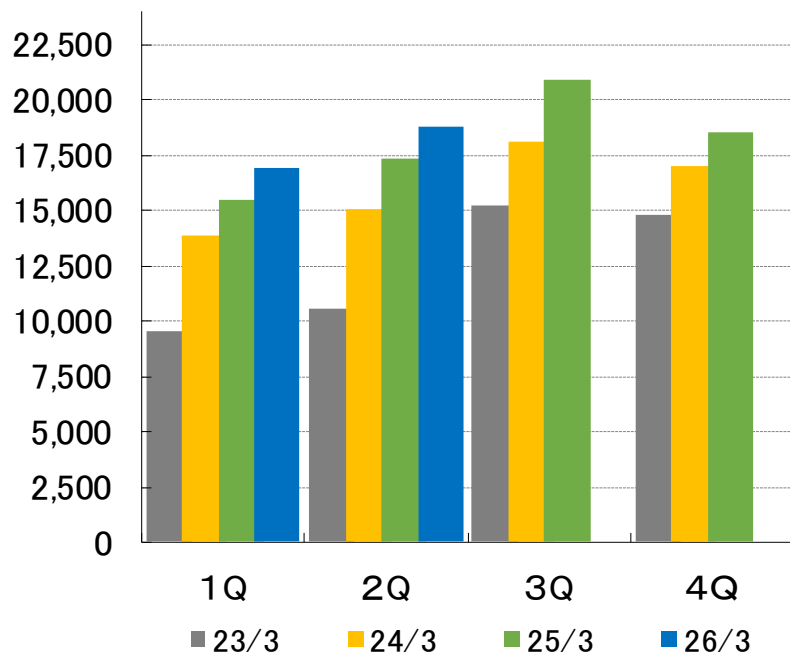
(営業利益)

(単位：百万円)

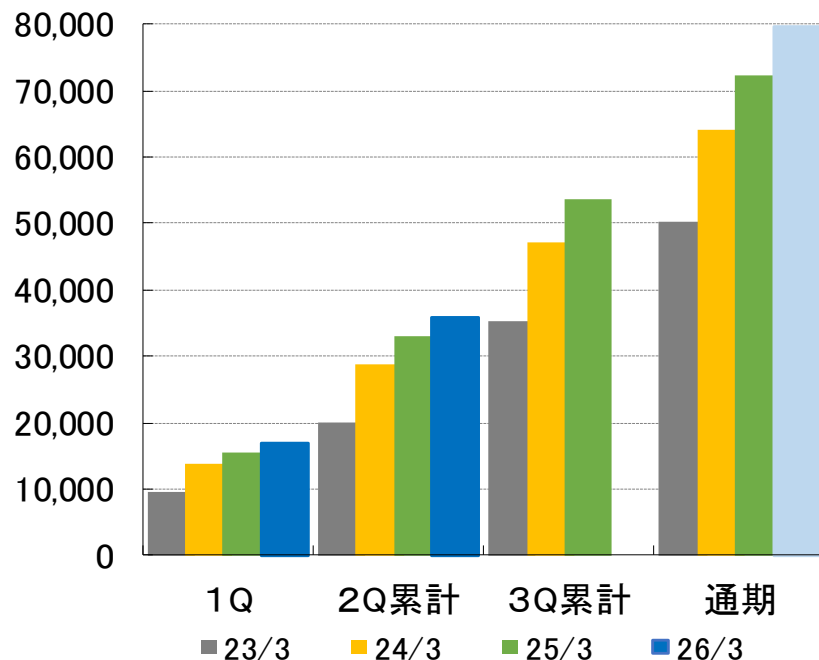


四半期業績の推移(売上高)

(百万円) 会計期間売上高の4期間比較



(百万円) 累計期間売上高の4期間比較

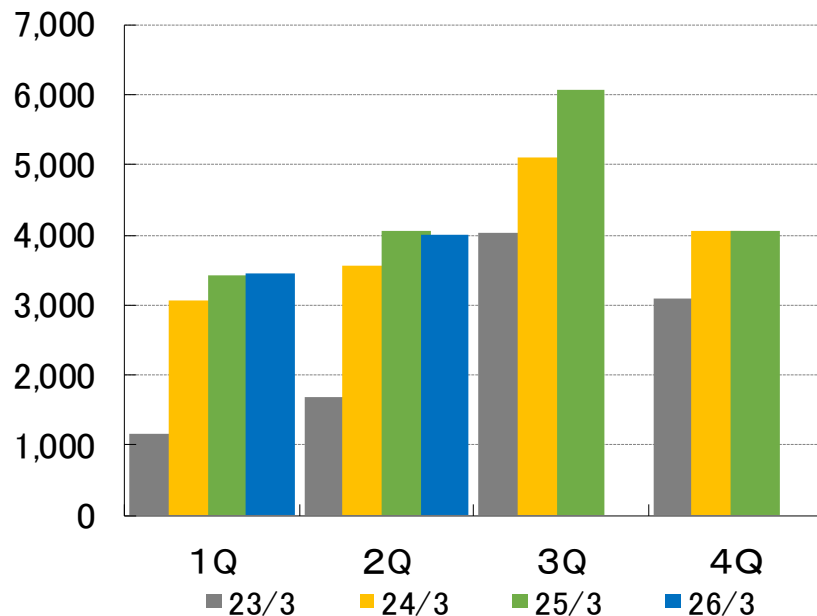


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
23/3	9,515	10,584	15,270	14,785	9,515	20,099	35,370	50,155
24/3	13,853	15,037	18,144	16,999	13,853	28,891	47,036	64,035
25/3	15,526	17,379	20,901	18,541	15,526	32,906	53,807	72,349
26/3	16,976	18,811			16,976	35,787		79,670
対前年	109.3%	108.2%			109.3%	108.8%		110.1%

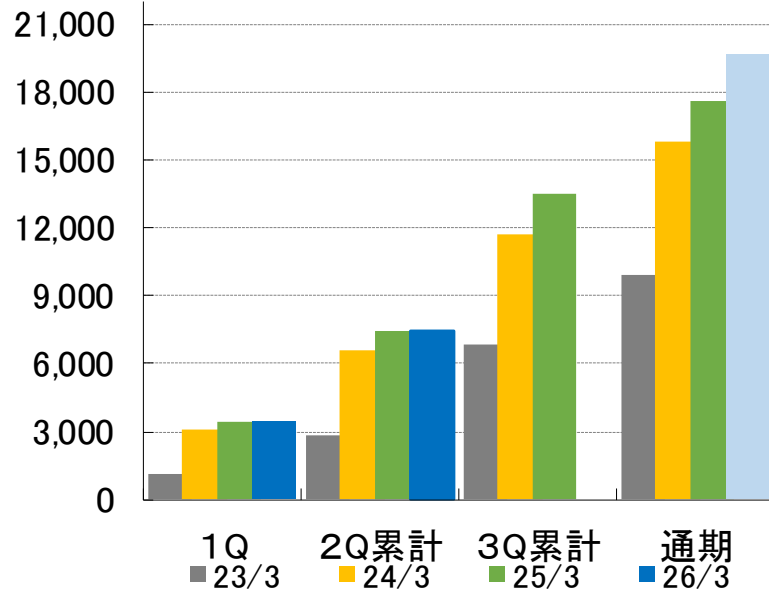
通期は予想数値

四半期業績の推移(営業利益)

(百万円) 会計期間営業利益の4期間比較



(百万円) 累計期間営業利益の4期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
23/3	1,150	1,679	4,026	3,095	1,150	2,830	6,856	9,951
24/3	3,058	3,563	5,111	4,046	3,058	6,622	11,734	15,780
25/3	3,428	4,048	6,069	4,065	3,428	7,476	13,545	17,610
26/3	3,439	4,001	-	-	3,439	7,441	-	19,650
対前年	100.3%	98.8%	-	-	100.3%	99.5%	-	111.6%

貸借対照表

流動資産の減少は、現預金及び売上債権の減少などによるもの

(百万円、%)	24年3月期		25年3月期		26年3月期(中間期)		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	34,408	74.0	37,649	72.4	36,041	70.7	△ 1,607	△ 4.3
固定資産	12,102	26.0	14,331	27.6	14,943	29.3	612	4.3
資産合計	46,510	100.0	51,980	100.0	50,985	100.0	△ 994	△ 1.9
流動負債	8,824	19.0	9,735	18.7	8,485	16.6	△ 1,250	△ 12.8
固定負債	2,462	5.3	2,158	4.2	2,193	4.3	35	1.6
負債合計	11,287	24.3	11,894	22.9	10,679	20.9	△ 1,215	△ 10.2
純資産	35,223	75.7	40,085	77.1	40,305	79.1	220	0.5
負債純資産合計	46,510	100.0	51,980	100.0	50,985	100.0	△ 994	△ 1.9
BPS(円)	226.38		259.67		260.97		1.30	0.5
設備投資額	1,926		3,357		1,259		－	－
減価償却費	1,164		1,462		778		－	－

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ残高は前年同期水準

(百万円、%)	24年3月期	25年3月期		26年3月期	対前年同期	
	通期	中間期	通期	中間期	増減額	増減率
営業活動CF	10,845	5,252	13,204	5,263	11	0.2
投資活動CF	△ 2,004	△ 1,639	△ 3,438	△ 3,353	△ 1,714	104.6
フリーCF	8,840	3,613	9,766	1,910	△ 1,702	△ 47.1
財務活動CF	△ 2,322	△ 4,358	△ 7,372	△ 5,242	△ 883	20.3
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△ 2	△ 5	8	10	—
cash増減	6,527	△ 747	2,388	△ 3,322	△ 2,574	—
cash期首	16,162	22,689	22,689	25,081	2,391	10.5
連結範囲の変更に伴う増減額	—	—	3	—	—	—
cash期末	22,689	21,941	25,081	21,758	△ 183	△ 0.8



2026年3月期 業績予想

(業績予想は、2025年5月13日付で公表した予想から変更はありません。)

2026年3月期 業績予想の補足説明

●通期業績予想	期初予想を据え置く。インバウンド対策の強化、価格改定、新ブランド・新商品、季節イベント対策の強化、出店攻勢などによる販売強化と生産稼働上昇による生産性改善などにより、巻き返しを図る
●出退店等	下期は、阪神梅田本店及び西武池袋本店での新ブランド出店やグループ初となる国際線ターミナル内での直営店を福岡空港国際線ターミナルに2店舗出店するなどの好立地出店を予定。
●設備投資等	設備投資計画は25億円。／九十九島グループの佐世保日宇工場が本年8月閉鎖。（建物を解体後に売却を予定。）

2026年3月期 業績予想(対前期)

売上高 前期比10.1%増、営業利益 同11.6%増

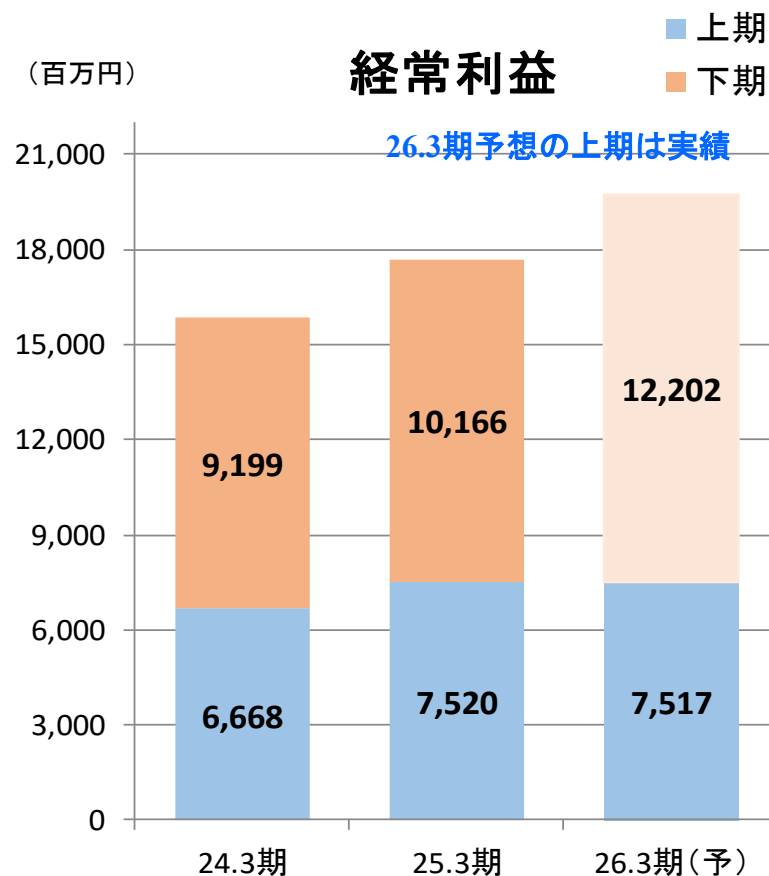
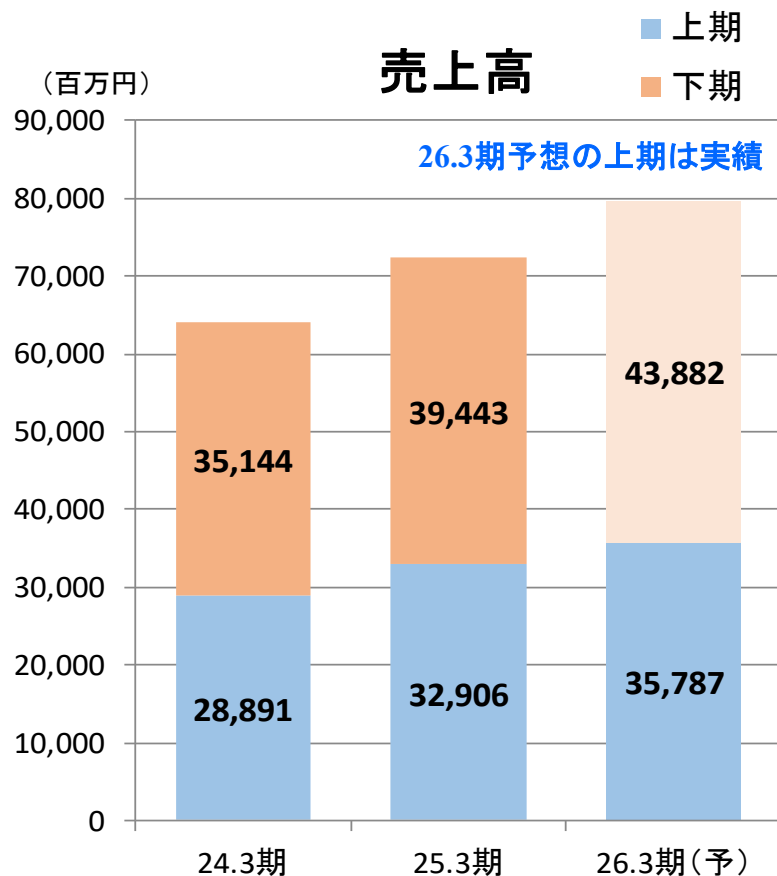
(百万円、%)	25年3月期		26年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	72,349	—	79,670	—	7,320	10.1
売上総利益	44,804	61.9	49,600	62.3	4,795	10.7
販売管理費	27,193	37.6	29,950	37.6	2,756	10.1
営業利益	17,610	24.3	19,650	24.7	2,039	11.6
経常利益	17,686	24.4	19,720	24.8	2,033	11.5
当期純利益(注)	12,122	16.8	13,400	16.8	1,277	10.5
EPS(円)	78.00		86.81		8.81	—
1株当たり配当金(円)	32.00		35.00		3.0	—
設備投資	3,357		2,500		△ 857	△ 25.5
減価償却費	1,462		1,600		138	9.4

(注) 当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

2026年3月期 業績予想(セグメント別)

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	25/3期	26/3期予	増減額	増減率	25/3期	26/3期予	増減額
シュクレイグループ	34,698	38,110	3,411	9.8	6,797	7,755	957
ケイシイシイ	21,482	23,800	2,317	10.8	5,024	5,620	595
寿製菓グループ	14,545	15,730	1,184	8.1	3,240	3,497	256
販売子会社	7,227	7,800	572	7.9	946	1,040	93
その他	692	690	△ 2	△ 0.3	55	48	△ 7
セグメント計	78,647	86,130	7,482	9.5	16,064	17,960	1,895
調整額	△ 6,297	△ 6,460	△ 162	2.6	1,546	1,690	143
合計	72,349	79,670	7,320	10.1	17,610	19,650	2,039

2026年3月期 業績予想(上期・下期比較)



(百万円、%)	売上高						経常利益					
	24/3期	構成比	25/3期	構成比	26/3期(予)	構成比	24/3期	構成比	25/3期	構成比	26/3期(予)	構成比
上期	28,891	45.1%	32,906	45.5%	35,787	44.9%	6,668	42.0%	7,520	42.5%	7,517	38.1%
下期	35,144	54.9%	39,443	54.5%	43,882	55.1%	9,199	58.0%	10,166	57.5%	12,202	61.9%
通期	64,035	100.0%	72,349	100.0%	79,670	100.0%	15,867	100.0%	17,686	100.0%	19,720	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

当社グループの経営理念は、創業者であります故河越庄市をはじめ、諸先輩方が幾多の試練を乗り越えてこられた中、生まれました。利潤の追求のみが企業の目的ではなく、会社が未来永劫発展し続けるためには、常に「人様に喜んでいただく」ことを最優先に考え、お客様に喜んでいただける商品を創り、お客様に喜ばれるサービスを提供し続け、地域社会への貢献、共存・共栄こそが、会社の存在意義であり、当社グループに与えられた使命であります。

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

当社グループの全従業員は、経営理念の具現化に向け、ひとつのお菓子、ひとりのお客様への接客で、一生お付き合いができる熱狂的なファンを今日一人創ることに徹する「熱狂的ファン創り」を基本ポリシーとしております。

《経営理念手帳「こづち」について》

当社グループは、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、全従業員の経営理念浸透と企業倫理の徹底に努めております。

経営理念手帳「こづち」は、各職場単位で行う朝礼や研修、勉強会などで活用し、また、経営理念の実践の成果を全従業員が共有し、さらなる大きな成果を生み出していくことを目的に「こづち発表全国大会」を年1回開催しております。



2025年1月「こづち発表全国大会」を開催

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のプレミアムギフトスイーツブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

当社グループは、「お菓子の総合プロデューサー」として、「高い価値の創造」をテーマに、美味しさと地域性を追求した「プレミアムギフトスイーツ」の創造と育成を推進し、地域社会への貢献・共存・共栄を図り、社会から信頼され必要とされる企業集団を目指してまいります。



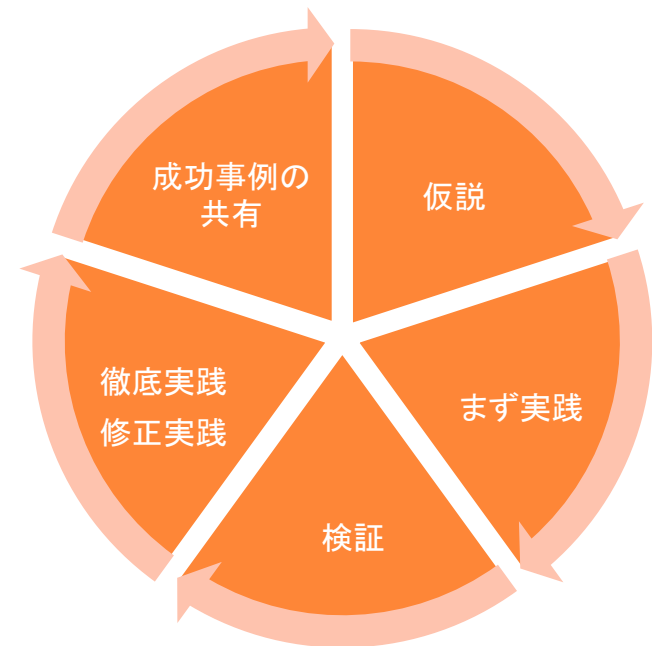
寿スピリッツグループ2025年経営スローガン

マッハで実践！ 実践！ 実践！

当社グループは、高いブランド価値の創造に向けて、全従業員が超現場力を発揮し、「寿スピリッツ流PDCAサイクル」をマッハで実践する。

寿スピリッツ流PDCAサイクル

素晴らしい実績をあげた優秀者や優秀チームが毎月開催する経営会議にて成功事例を発表し、グループの全従業員に共有します。現場では共有された成功事例を参考にして自ら新たな対策の仮説を考え、即実践します。実践したらすぐに結果を検証し、仮説が正しければ、徹底実践。修正が必要であれば、修正実践。その結果、新たな成功事例が創り出されるのです。当社内では「WSR成功サイクル」と呼び、超現場力の源泉として活用しています。



中長期の経営目標（Value Up Vision 2030）

●成長ストーリー

経営理念をベースとした

「全員参画による超現場主義経営」の更なる推進

当社グループは、経営理念を拠り所に、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「全員参画による超現場主義経営」の徹底実践により人的資本経営を推進。活力ある魅力あふれる企業集団を創造し、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。



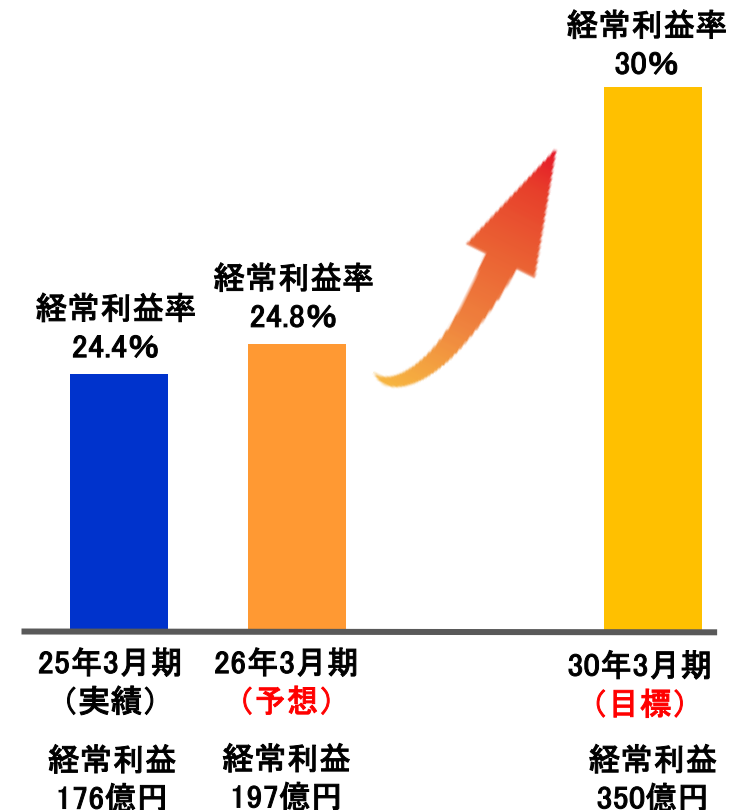
中長期の経営目標 (Value Up Vision 2030)

●重点対策

- ・商品力、売場力、販売力のValue Up
- ・インバウンド対策のValue Up
- ・人財力のValue Up

●目標指標

- ・ 経常利益率 30% (2030年3月期)
- ・ 経常利益 350億円 (2030年3月期)
- ・ 5カ年の平均売上成長率 10%
- ・ ROE30%以上

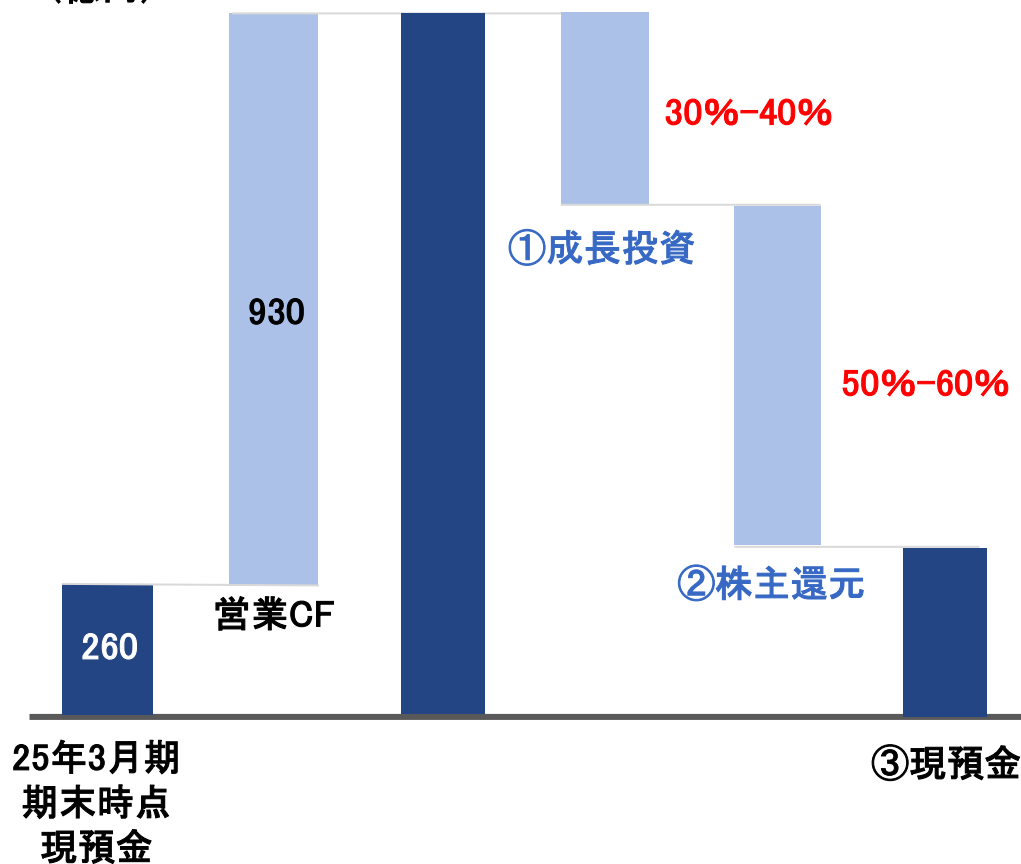


●キャッシュアロケーション方針

(26年3月期から30年3月期の5年間)

創出するキャッシュを更なる成長投資・株主還元投入到し、更なる収益性の向上により高ROE経営を推進。中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

(億円)



①成長投資

工場投資(既存工場の維持、更新含む)、出店投資やM&A等による新たな成長投資

②株主還元

総還元性向50%以上を意識し、利益成長に応じた増配と機動的な自己株式取得を実施

③現預金

売上の30%程度を目安に手元流動性を確保

セグメント別概況



- シュクレイグループ
(シュクレイ/九十九島グループ)
- ケイシイシイ
- 寿製菓グループ
(寿製菓/但馬寿/ケーエムエフ)
- 販売子会社
- その他

《シュクレイグループ》

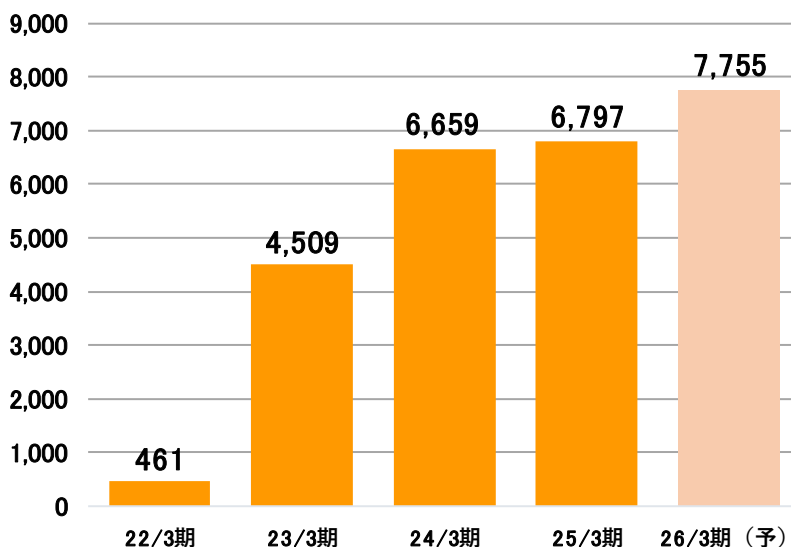
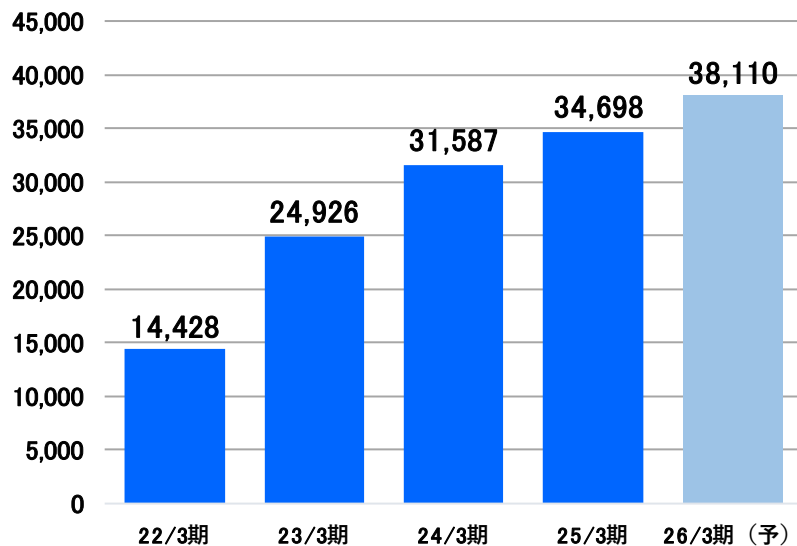
26/3期予想: 売上高 **38,110** 百万円 (前期比 **+9.8%**) 営業利益 **7,755** 百万円 (同 **+14.1%**)

(百万円)

売上高

(百万円)

営業利益



(百万円, %)	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	対前期		26/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	14,428	24,926	31,587	34,698	3,110	9.8	38,110	3,411	9.8
売上総利益	8,511	15,587	20,424	22,286	1,861	9.1	24,745	2,458	11.0
粗利率	59.0	62.5	64.7	64.2	△ 0.4	-	64.9	0.7	-
販売管理費	8,049	11,077	13,765	15,489	1,723	12.5	16,990	1,500	9.7
営業利益	461	4,509	6,659	6,797	138	2.1	7,755	957	14.1

くじゅうくしま

(注) 2025年4月1日付の組織再編(会社分割)により、「シュクレイ」と「九十九島グループ」を統合し、セグメント名称を「シュクレイグループ」に変更。前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成。

《シュクレイグループ》

現場力の更なる強化により、ブランド価値の向上を図り、
成長を加速させる

THE
DROS



ザ・ドロス レモンケーキ(マスカルポーネ&アーモンド)



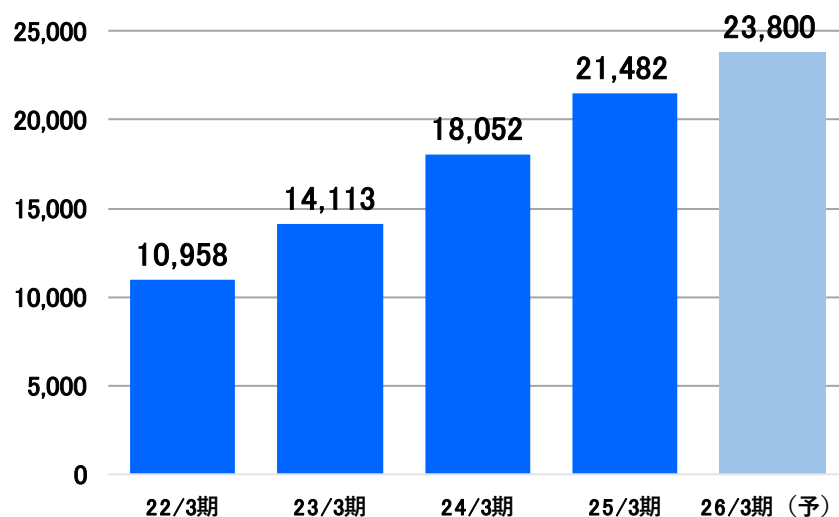
ザ・ドロス サンドクッキー(マスカルポーネ&ヘーゼルナッツ)

《ケイシイシイ》

26/3期予想:売上高 **23,800**百万円(前期比**+10.8%**)営業利益 **5,620**百万円(同**+11.9%**)

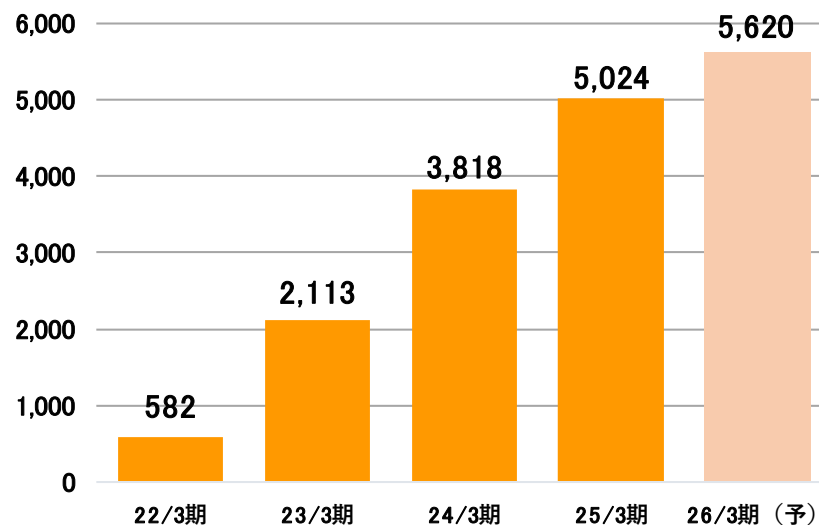
売上高

(百万円)



営業利益

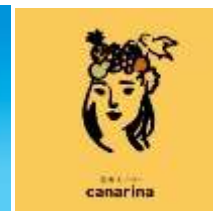
(百万円)



(百万円,%)	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	対前期		26/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,958	14,113	18,052	21,482	3,429	19.0	23,800	2,317	10.8
売上総利益	5,908	8,149	10,938	13,378	2,439	22.3	14,840	1,461	10.9
粗利率	53.9	57.7	60.6	62.3	1.7	-	62.4	0.1	-
販売管理費	5,325	6,035	7,120	8,354	1,234	17.3	9,220	865	10.4
営業利益	582	2,113	3,818	5,024	1,205	31.6	5,620	595	11.9

《ケイシイシイ》

小樽洋菓子舗LeTAOの更なるブランド価値の向上と、
「ピスタ&トーキョー」、「ナウオンチーズ♪」、「岡田謹製あんバター屋」
2024年にオープンした「カナリナ」を加えた首都圏ブランドの育成に注力



小樽洋菓子舗ルタオ ニューヨークチーズケーキ〜パンプキン〜

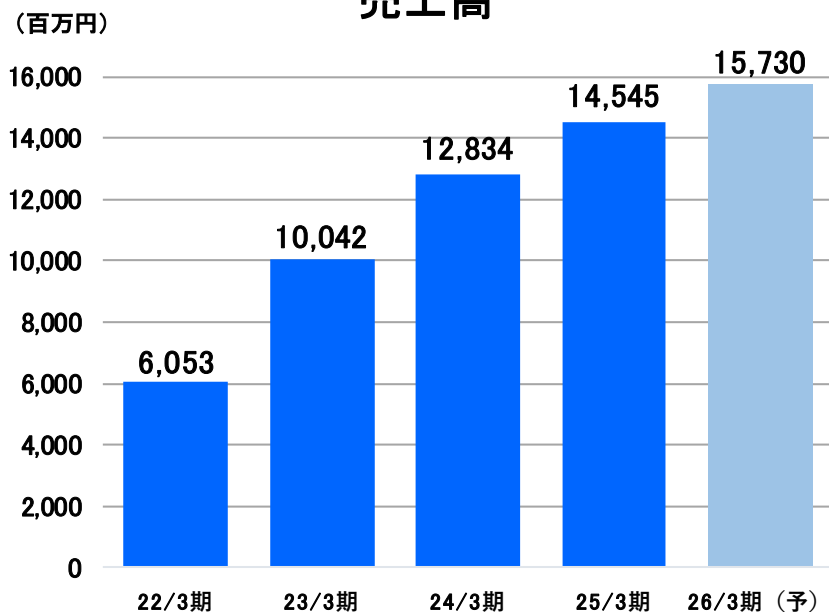


カナリナ 果実とバターのサンド

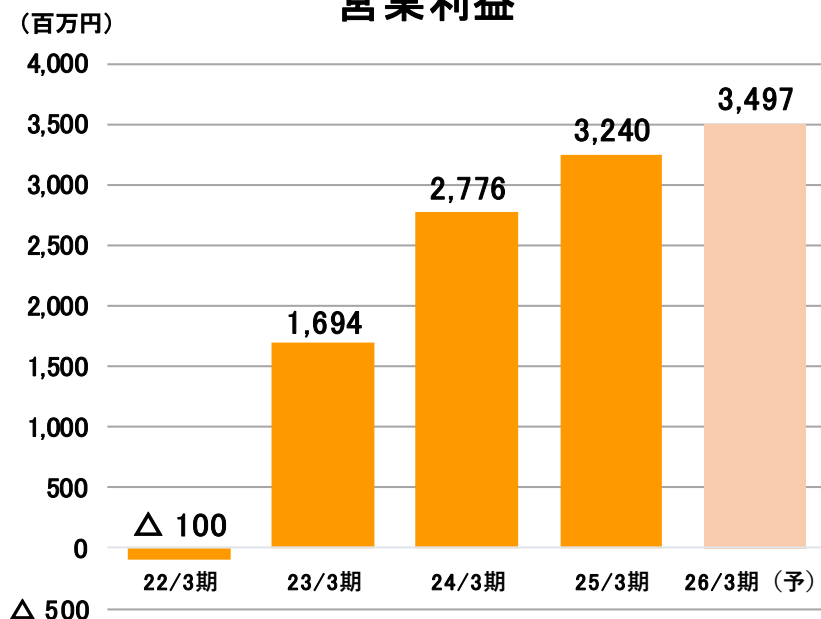
《寿製菓グループ》

26/3期予想:売上高 **15,730**百万円(前期比**+8.1%**)営業利益 **3,497**百万円(前期比**+7.9%**)

売上高



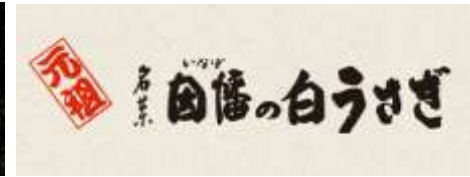
営業利益



(百万円,%)	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	対前期		26/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	6,053	10,042	12,834	14,545	1,711	13.3	15,730	1,184	8.1
売上総利益	1,773	3,952	5,355	6,104	749	14.0	6,677	572	9.4
粗利率	29.3	39.4	41.7	42.0	0.2	-	42.4	0.5	-
販売管理費	1,873	2,258	2,578	2,863	285	11.1	3,180	316	11.0
営業利益	△ 100	1,694	2,776	3,240	464	16.7	3,497	256	7.9

(注)「寿製菓・但馬寿」のセグメント名称を「寿製菓グループ」に変更。

《寿製菓グループ》



主力商品の育成及び新商品開発の推進、代理店との連携強化により
更なる成長を目指す



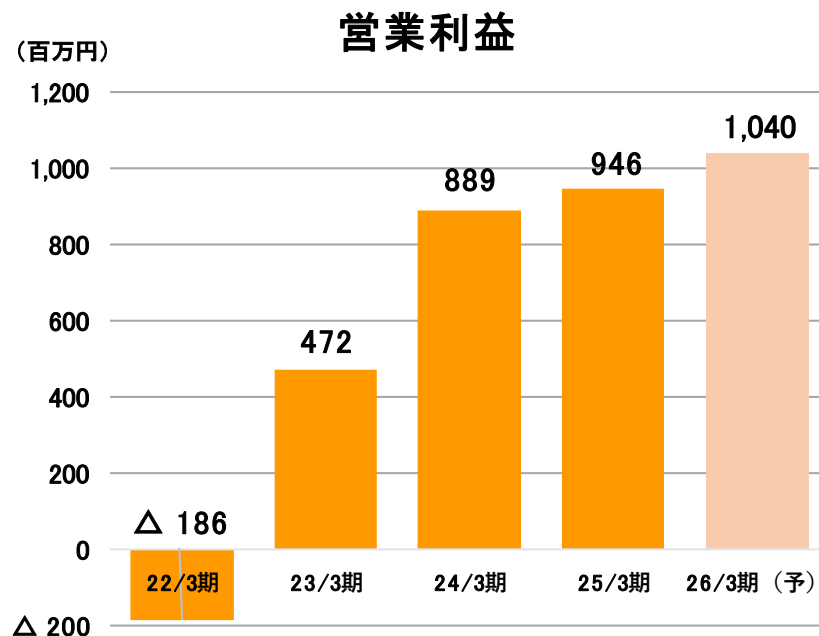
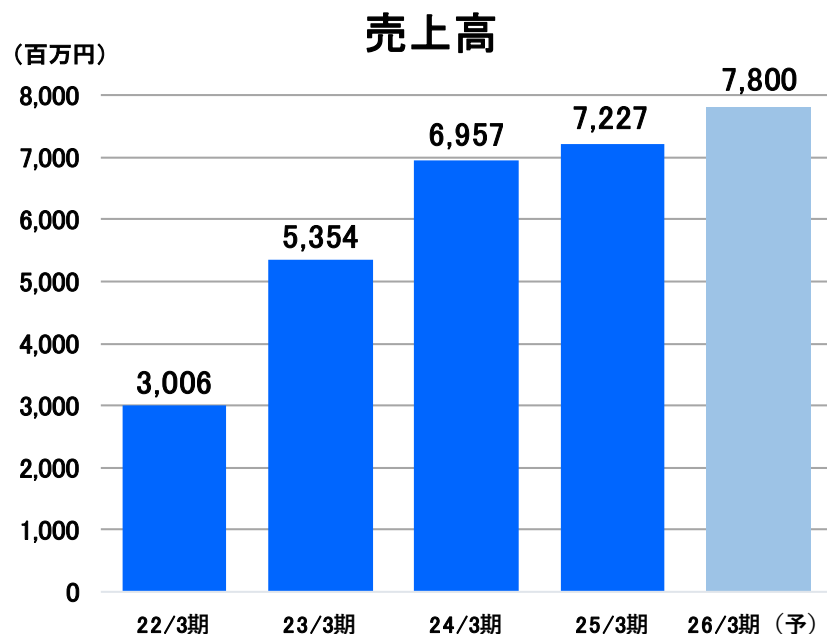
期間限定商品 モンブランフォンデュ



因幡の白うさぎ

《販売子会社》

26/3期予想:売上高 **7,800**百万円(前期比**+7.9%**)営業利益 **1,040**百万円(前期比**+9.9%**)



(百万円,%)	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	対前期		26/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,006	5,354	6,957	7,227	270	3.9	7,800	572	7.9
売上総利益	1,097	2,012	2,637	2,796	159	6.1	3,020	223	8.0
粗利率	36.5	37.6	37.9	38.7	0.8	—	38.7	0.0	—
販売管理費	1,284	1,540	1,747	1,850	102	5.9	1,980	129	7.0
営業利益	△ 186	472	889	946	56	6.4	1,040	93	9.9

《販売子会社》

主力商品対策及び地域特性にマッチした新商品発売
に注力



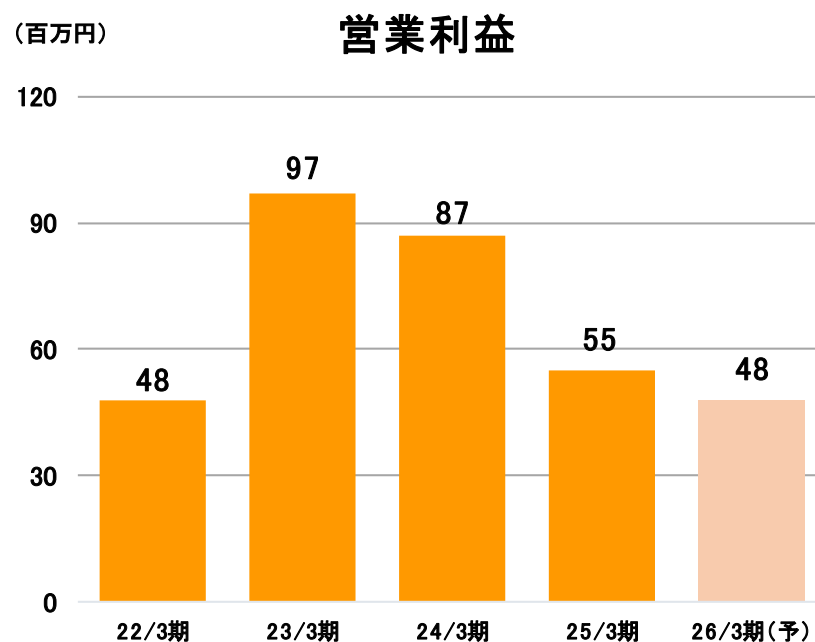
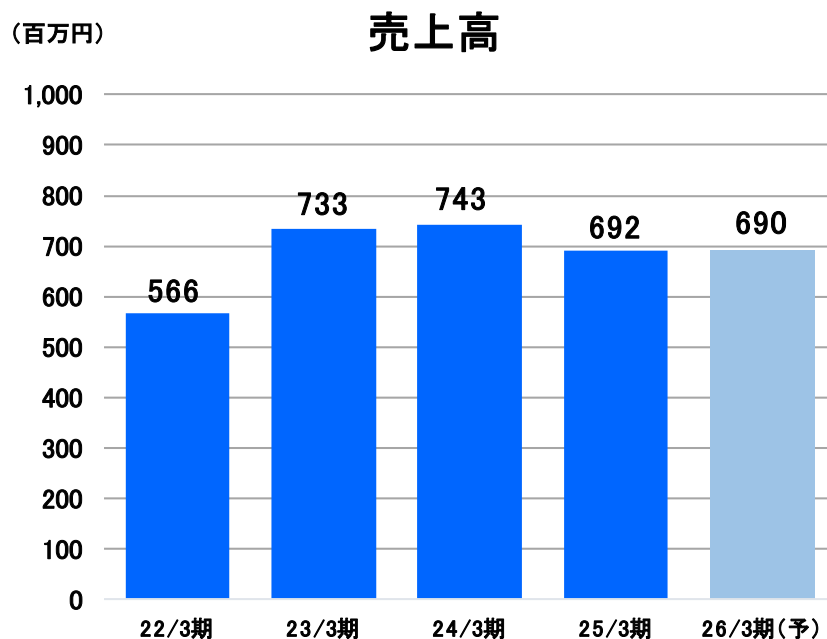
コンディトライ神戸 神戸ミルクヨーグルトパフェクッキー



HARE MASU OKAYAMA
シャインマスカットラングドシャ

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)菓子事業>

26/3期予想:売上高 **690**百万円(前期比 $\Delta 0.3\%$)営業利益 **48**百万円(同 $\Delta 13.6\%$)



(百万円,%)	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	対前期		26/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	566	733	743	692	△ 51	△ 6.9	690	△ 2	△ 0.3
売上総利益	411	534	537	494	△ 42	△ 8.0	488	△ 6	△ 1.3
粗利率	72.5	72.8	72.2	71.4	△ 0.8	-	70.7	△ 0.7	-
販売管理費	362	437	449	438	△ 11	△ 2.5	440	1	0.3
営業利益	48	97	87	55	△ 31	△ 36.3	48	△ 7	△ 13.6

《その他》

台湾菓子事業



東京ミルクチーズ工場 台湾限定商品



ザ・メープルマニア 台湾限定商品

純藍

健康食品事業(純藍事業)



古来伝承素材「藍」を100%配合した健康茶『純藍茶』



ESG関連情報

ESG情報(マテリアリティの特定および統合報告書の発行)

当社は、当社グループが様々な事業活動を推進していくうえで、持続可能な社会実現への貢献と中長期的な企業価値の向上が重要な経営課題であるとの認識のもと、2024年6月にはマテリアリティ(重要課題)を特定し、サステナビリティにおける取り組みを推進してまいります。

また、2025年11月に発行した統合報告書2025では、日本語版に加えて、初めて英語版を用意しました。

統合報告書2025(日本語版・英語版)



寿スピリッツグループのマテリアリティ(重要課題)

- ① 持続可能な環境型社会への貢献
- ② 安心安全な製品の提供
- ③ 多様性を尊重した人財の採用と育成
- ④ 持続可能なサプライチェーンの構築
- ⑤ 地域社会との共存共栄
- ⑥ コーポレートガバナンスの強化



寿スピリッツグループ
サステナビリティサイト





株式の状況・株主還元

株式の状況

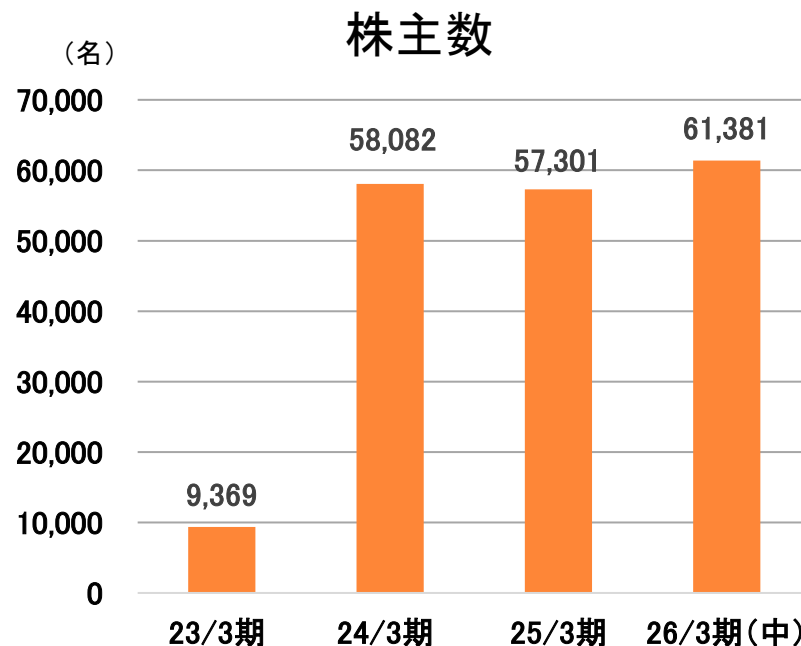
(2025年9月30日現在)

■発行可能株式総数 456,000,000株

■発行済株式総数 155,658,402株

■単元株式数 100株

■株主数 61,381名(前期末比 4,080名増)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	45,500,000	29.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,573,700	8.14
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	10,483,936	6.79
INDUS SELECT MASTER FUND, LTD.	3,966,400	2.57
株式会社山陰合同銀行	3,657,300	2.37

(注)出資比率は、自己株式1,225,366株を除く

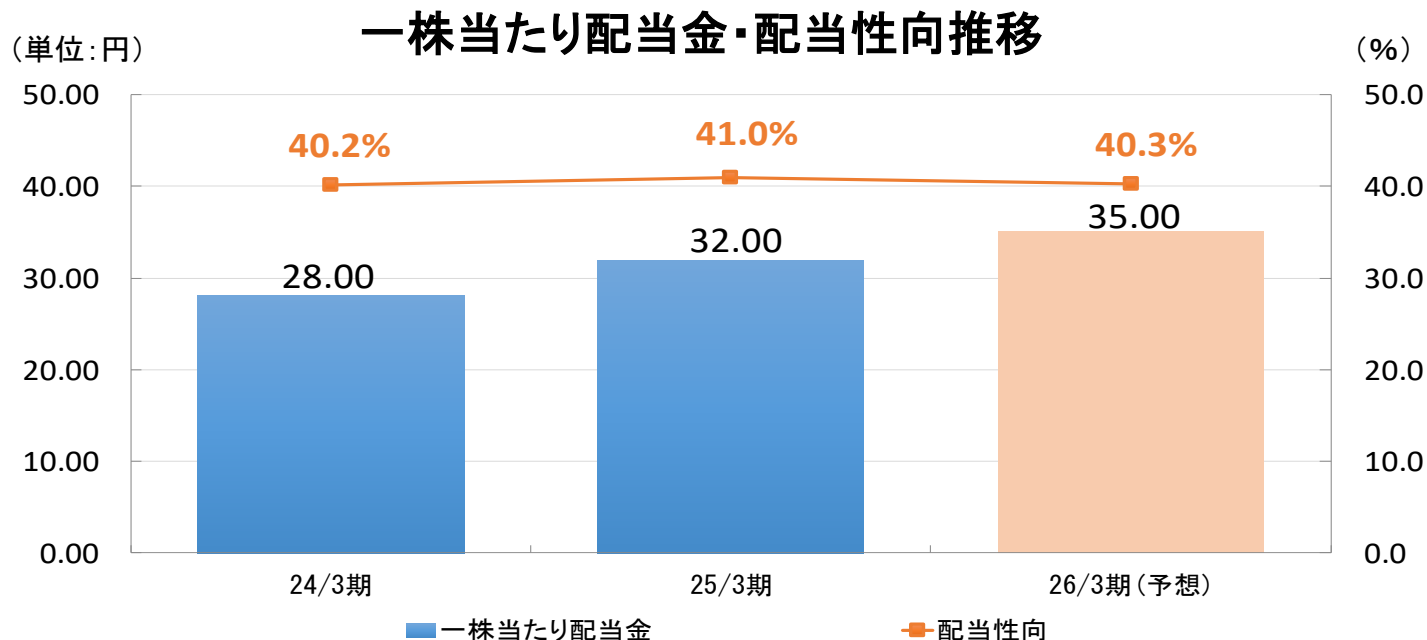
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元に努めることを基本方針としております。

なお、2026年3月期から2030年3月期の株主還元につきましては、総還元性向50%以上を意識し、利益成長に応じた増配と機動的な自己株式取得を実施する方針としております。

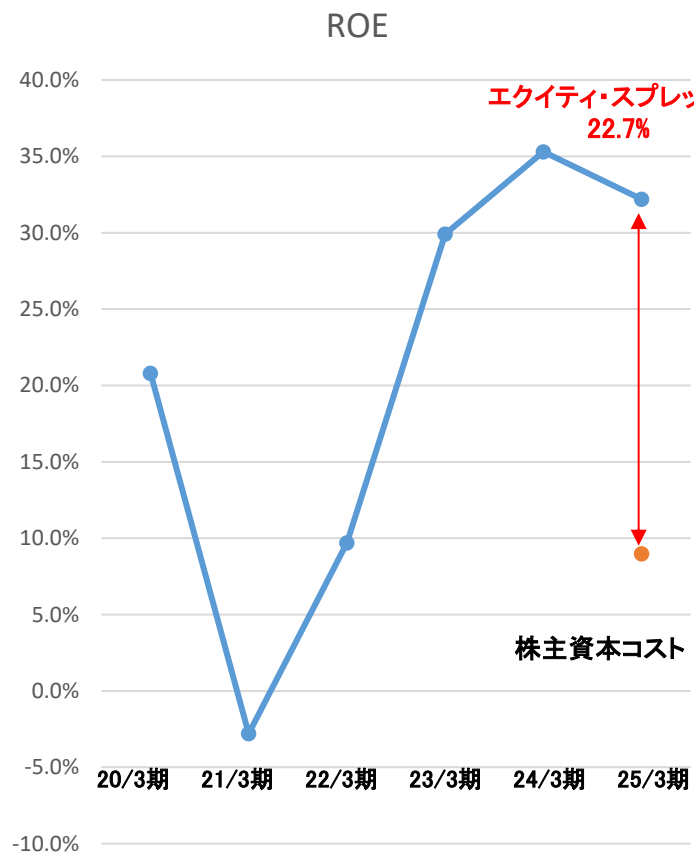
■ 2026年3月期 1株当たり配当金予想 35円



資本コストや株価を意識した経営への対応

■資本収益性の分析

株主資本コストをCAPM(資本資産価格モデル)で算出し、概ね9.5%程度と認識しております。ROEは、23/3月期は29.9%、24/3月期は35.1%、25/3月期は32.2%となり、株主資本コストを大きく超えて推移いたしております。今後もROE30%以上を目標にさらなる収益性の向上に努め、高ROE経営を推進し、企業価値の向上に努めてまいります。



	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
ROE	20.8%	-2.8%	9.7%	29.9%	35.1%	32.2%
ROE分解						
売上高純利益率	9.1%	-2.5%	6.0%	14.0%	16.9%	16.8%
総資産回転率(回)	1.71	0.90	1.23	1.56	1.53	1.47
財務レバレッジ(倍)	1.34	1.28	1.32	1.37	1.35	1.31

	【収益性】	【資産効率性】	【財務レバレッジ】
ROE	=	×	×
	$\frac{\text{純利益}}{\text{売上高}}$	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$

株主資本コスト(%) 25/3期

リスクフリーレート	ベータ(β)感応度	リスクプレミアム	株主資本コスト
安全資産・無利息金利 ※10年国債利回りを ベースに設定	×	当社固有のリスク	×
		株式投資に期待する超 過収益率※過去の株式 市場リターンから設定	=
			9.51%
			CAPMより算出

資本コストや株価を意識した経営への対応

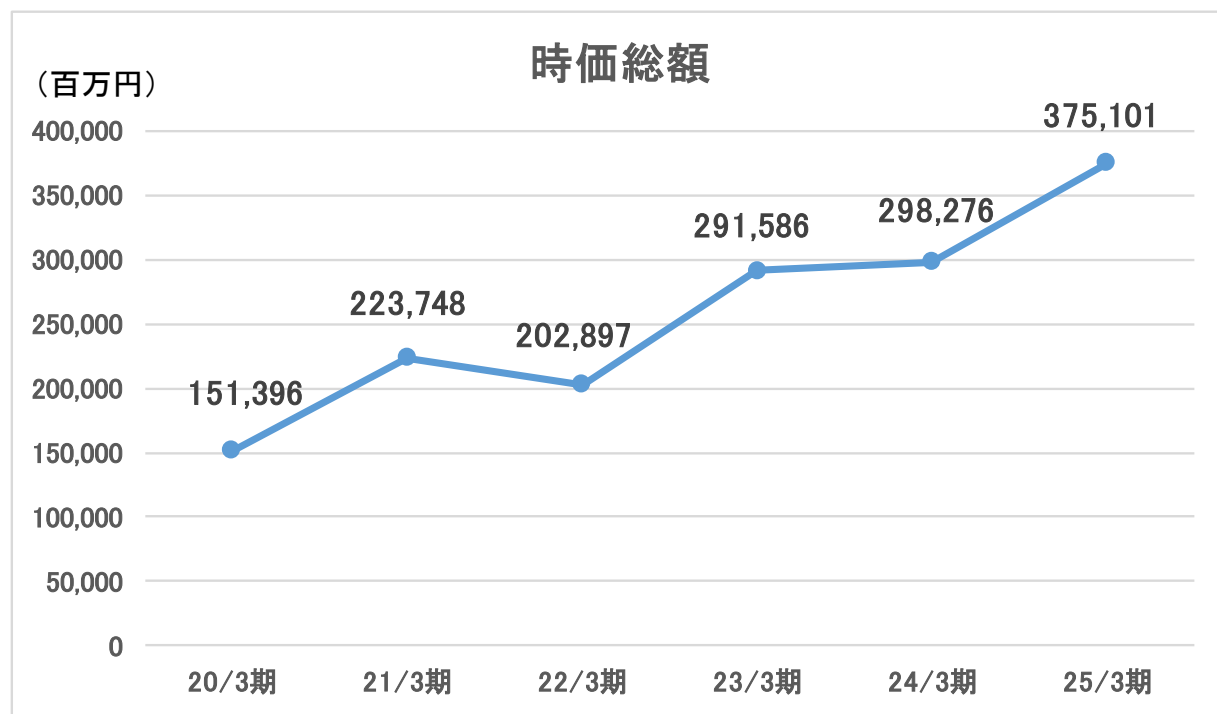
■市場評価(PER、PBR)

25/3期末のPBR(株価純資産倍率)は9.36倍と1倍を大きく超えております。

	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
PER	36.92	—	105.91	41.55	27.54	31.15
PBR	7.15	11.57	9.97	11.00	8.47	9.36

(注)21/3期のPERは、当期純損失のため非表示

■市場評価(時価総額)



(注)時価総額＝期末株価×(発行済株式数－自己株式数)



《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証プライム)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億6,324万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,842名
グループ会社	連結子会社18社(国内17社・海外1社)
連結売上高	723億円(2025年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子＝果子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に **株式会社つきじちとせ**を設立。東京和菓子ブランド展開に着手。北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『**小樽洋菓子舗ルタオ**』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、**株式会社九十九島グループ**スタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に**株式会社シュクレイ**を設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に**純藍株式会社**を設立。
- 2016年1月 (平成28年) **株式会社フランセ**の全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) **株式会社シュクレイ**が**株式会社フランセ**を吸収合併。
- 2022年4月 (令和4年) 東京証券取引所の市場区分見直しにより、プライム市場へ移行。
- 2024年7月 (令和6年) 沖縄県宮古島市に株式会社ケーエムエフを設立。



小樽洋菓子舗ルタオ



“九十九島せんぺい”

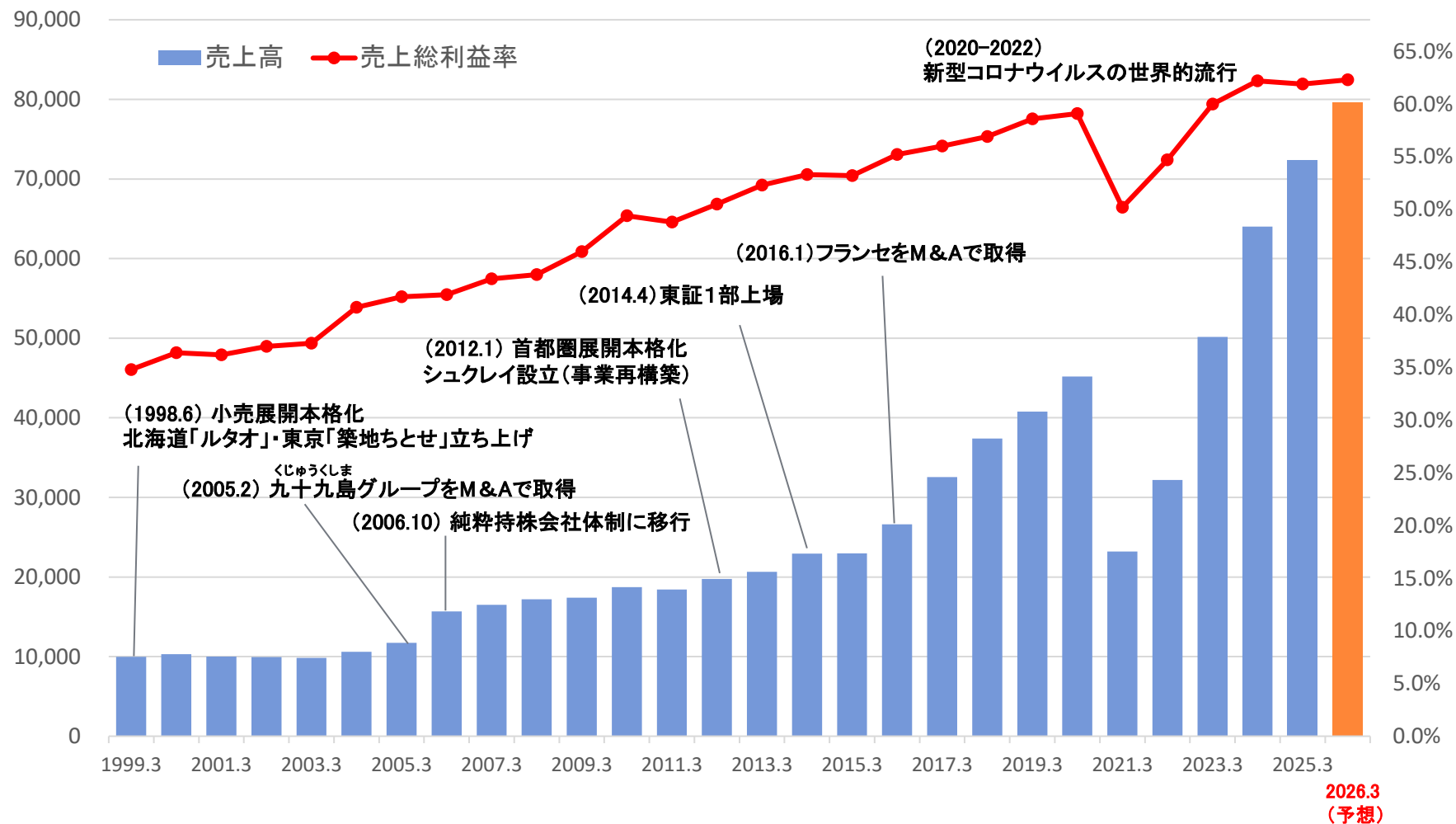


洋菓子のフランセ

寿スピリッツグループの変遷①

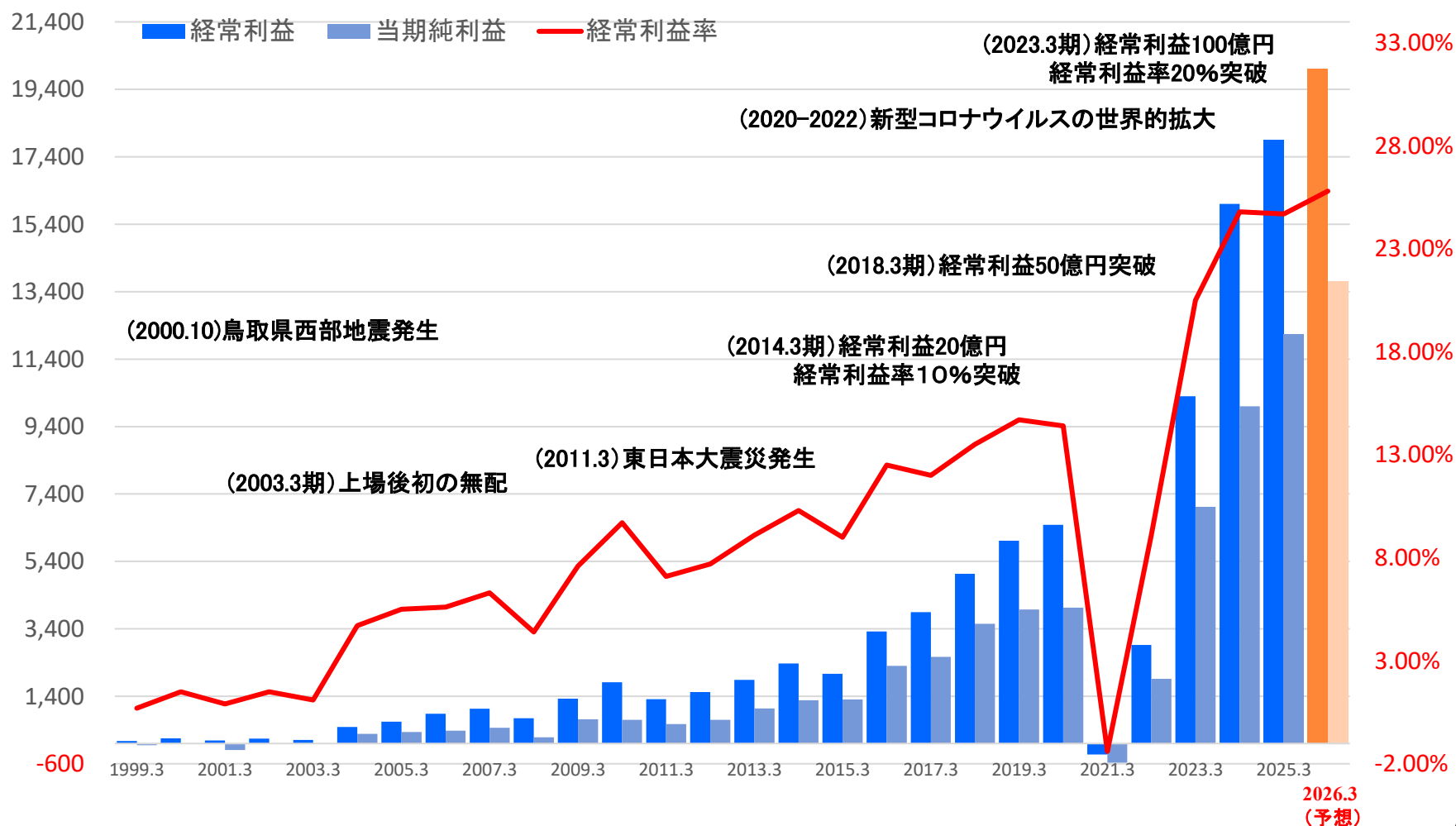
製造卸から製造小売型経営への変革により、高粗利率経営を実現

単位:百万円



寿スピリッツグループの変遷②

2025年3月期 経常利益率は24.4%となり、高い収益性を実現



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

KÄNOZA
IZUMO



(北海道)



(佐世保・福岡)



(東京)



(東京)



(神戸)



(京都)



(東京)



(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
★ Nostalgic Sweets Museum ★

「ドゥーブルフロマージュ」 寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



くじゅうくしま
「九十九島せんぺい」



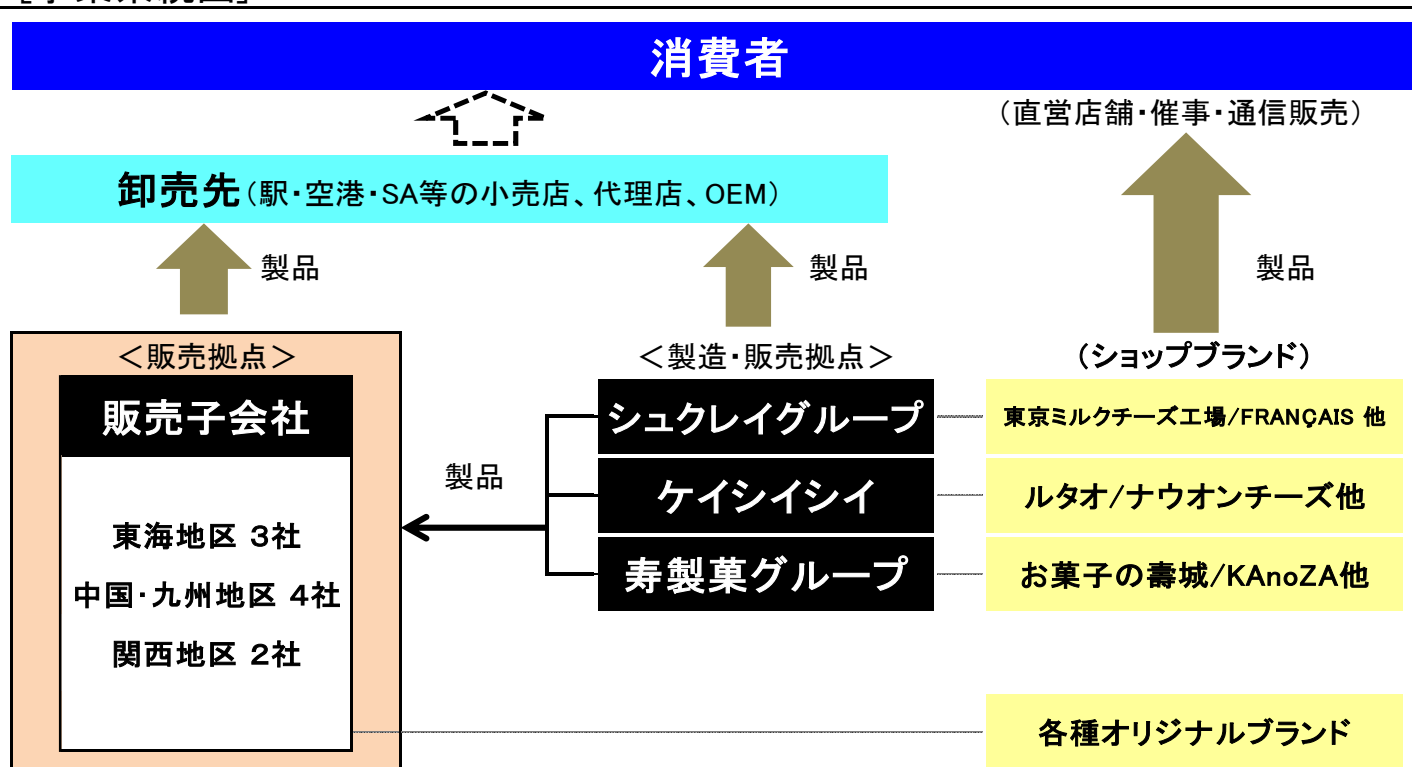
事業概要

当社グループは、当社（純粋持株会社）・子会社18社で構成。

事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。（地域事業会社の連合体）

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)は除いている。

グループ生産体制



本社工場



浦津工場



淀江工場(お菓子の壽城)



但馬工場



寿製菓
本社工場
浦津工場
淀江工場
但馬工場

※全工場でISO22000取得



第1工場



第2工場



ケイセイセイ

第1工場 FSSC22000認証取得

第2工場 FSSC22000認証取得
(AIBフードセーフティー監査システム導入)



福浦工場



浜松工場



黒髪工場



卸団地工場



シュクレイ

横浜工場 FSSC22000認証取得
浜松工場 FSSC22000認証取得
富士山静岡工場
FSSC22000認証取得予定



シュクレイ

(旧九十九島グループ工場)

黒髪工場 JICQA仕様-HACCPシステム認証取得
卸団地工場 FSSC22000認証取得予定



富士山静岡工場



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語です。

《寿スピリッツ》



●2025年6月、UI/UXの改善をテーマに寿スピリッツWebサイト／IRサイトをリニューアルしました。また、全ページ英語対応をしております。



TOP > IR・投資家情報



IRニュース

2025年7月10日	資料開示	2026年3月期第1四半期の売上状況（概算）について	143KB	開
2025年7月1日	株主通知	第73期定時株主総会開催を公開しました		開
2025年6月26日	資料開示	コーポレート・ガバナンスに関する報告書 2025/06/26	309KB	開
2025年6月24日	資料開示	譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ	183KB	開
2025年6月23日	有価証券報告書	有価証券報告書-第73期(2024/04/01-2025/03/31)	540KB	開





寿製菓株式会社
KOTOBUKI SPIRITS GROUP

《寿製菓》

●寿製菓 大感謝祭開催

2025年10月11日、13回目となる「寿製菓大感謝祭」を開催致しました。お客様とのふれあいを通じて熱狂的ファン創りに繋がるように、スタッフ参加型のイベントを多くご用意致しました。

2025 寿製菓 大感謝祭
10.11 9:30~17:00
お菓子の壽城

ありがとうの気持ちを、甘いひとときに込めて

悪魔もびっくり! 高所作業車から見られる壽城

イベント参加券
高所作業車で体験する壽城
悪魔もびっくり! 高所作業車から見られる壽城

イベント参加券
壽城に恐竜が襲来!?

イベント参加券
ダンススタジオジャム キッズダンスステージ

イベント参加券
米子北高校吹奏楽部 壽城特別演奏会!

イベント参加券
大感謝祭限定「わらび餅」販売

イベント参加券
米子城ハルーン

イベント参加券
子どもたちによる迫力のステージ

イベント参加券
大人も子どもも楽しめる! 困難の白うさぎ 日付体験&塗り絵コーナー

イベント参加券
とち餅の餅つき大会!

お菓子の壽城

タイムスケジュール

時間	施設ステージ	施設イベント
9:30	施設ステージ	施設イベント
10:00	施設ステージ	施設イベント
11:00	施設ステージ	施設イベント
12:00	施設ステージ	施設イベント
13:00	施設ステージ	施設イベント
14:00	施設ステージ	施設イベント
15:00	施設ステージ	施設イベント
16:00	施設ステージ	施設イベント

イベント参加券

ギネスに挑戦! あずき拾い

アクアリウム ハルーン作り

Kikkouとちゃんねの バルーンアート

白うさぎ一座ビンゴ大会

子ども縁日

めだかすくい販売

ゆるキャラ ふれあいイベント

とち餅手作教室

寿フードフェス

お菓子の壽城

《ケイシイシイ》



kcc co.,ltd.

● 2025年7月、新千歳空港内で開催された「ソフト・アイスクリーム総選挙」にてプレミアム部門では、ルタオ新千歳空港店の「ムースフロマージュパルフェ」、「さっぱり部門」ではヌーベルバーグ ルタオ ショコラティエの「クレームグラッセ マリアージュシュコラ」がそれぞれ1位を受賞しました。



「プレミアム」部門 第1位
ムースフロマージュパルフェ
ルタオ新千歳空港店



「さっぱり」部門 第1位
クレームグラッセ マリアージュシュコラ
ヌーベルバーグ ルタオ ショコラティエ



《シュクレイグループ》

SUCREY
ADYAMA

●2025年7月3日、「COCORIS(ココリス)」が東京駅限定手土産(スイーツ)売上ランキング(※1)で6年連続1位を受賞。2位にはザ・メープルマニア、4位にはザ・ドロスが初めてランクインしました。



(※1)東京駅のエキナカ商業施設「グランスタ東京」で年間を通して販売している東京駅限定の定番スイーツを対象とした 2025年5月1日(木)～2024年5月31日(土) の実店舗売上金額の集計に基づき、株式会社JR東日本クロスステーション デベロップメントカンパニーが2025年7月3日発表。

《九十九島グループ》

●2025年8月、第11回マイングおみやげ決定戦が開催され、赤い風船の「博多いちごいちご」が第1位、BUTTER&beeの「アソートギフト」が第2位を受賞。昨年は第1位を受賞した赤い風船の「フォンダンフロマージュ」は6回連続で第1位を受賞したことにより殿堂入りを果たしました。



(※)博多駅のエキナカ商業施設「マイング」で2025年7月11日～2025年7月31日 の期間中1000円以上ご購入されたお客様の投票によりランキングを決定。結果は、株式会社博多ステーションビルが2025年8月8日発表。